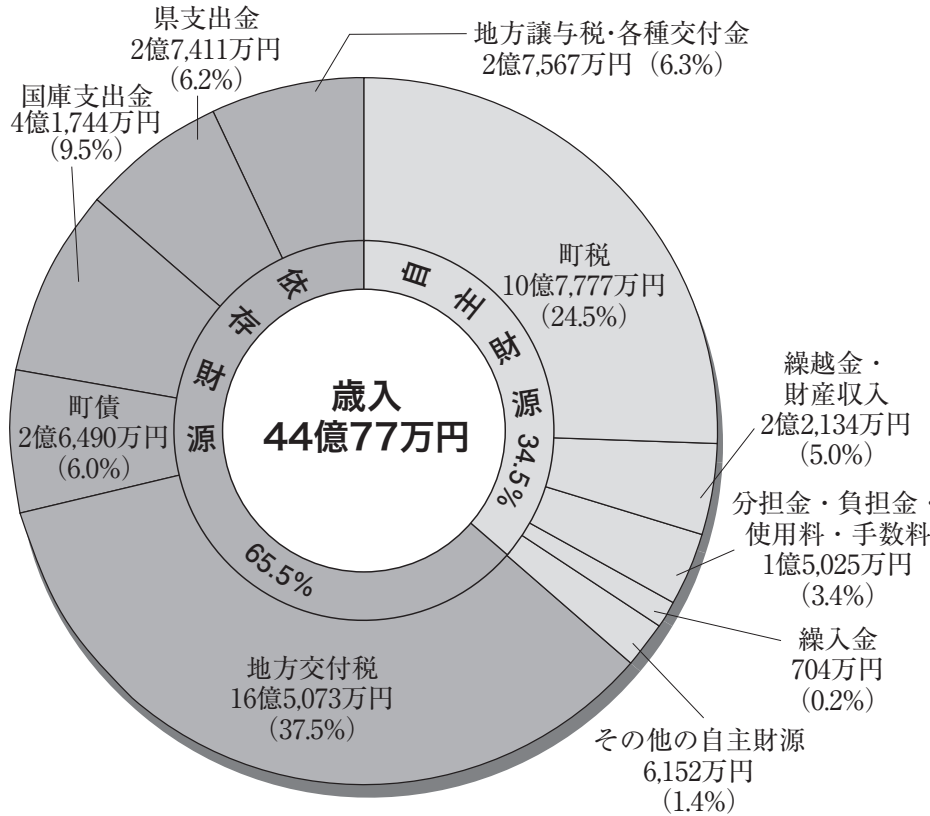


# 平成27年度

# 決算報告

平成27年度は、①安全で快適なまちづくり、②楽しく子育て、元気で長生きができるまちづくり、③心豊かな人間性を育み、文化彩るまちづくり、④豊かな自然と環境、産業が活きづくまちづくり、⑤連帯と交流が育む地域づくりと健全なまちづくりの5つを重点施策に掲げ、「夢を育める安全で安心な快適なまち」の実現に取り組みしました。



## 一般会計決算額

歳入	44億77万円
歳出	41億9,458万円
差引	2億619万円

## 歳入

歳入は、大きく分けて自主財源と依存財源に分けられます。自主財源では住民税、固定資産税などの町税が、依存財源では地方交付税が大きな柱となっています。歳入全体では、前年度と比べて1億9,746万円の増でした。

普通交付税は、新設された人口減少等特別対策事業費が重点配分されたことに伴い、1億6,433万円の増となりました。また、平成26年に税率の引き上げが実施された消費税率の平年度化により、地方消費税交付金が6,987万円の増となりました。

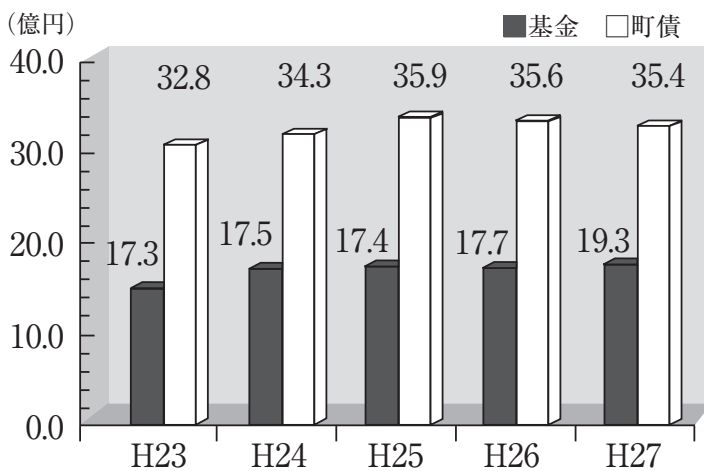
一方、町税は、3年ごとに実施される固定資産税の評価替えに伴う課税額の減等の影響を受け、3,471万円の減となりました。なお、前年度に引き続き、町の貯金にあたる基金からの繰り入れは行いませんでした。

## 歳出

歳出は、前年度に比べて1億9,929万円の増となりました。中でも消防費が9,231万円の増となりました。これは、重点施策の一環として取り組んだ消防車両の購入や消防団詰所の建設によるものです。中でも、他の車両よりサイズの大きな第1分団第2部の水槽付消防ポンプ自動車を購入したことや、第5分団詰所の建設工事を前年度から繰り越して実施したこと、加えて第4分団詰所の建設工事も実施したことが、消防費が大きく増加した主な要因です。また、国・県の補助を受け、

プレミアム付き商品券の販売を行ったため、商工費が1,296万円の増となっています。歳出の中で最も大きな割合を占める民生費は、皆野学童保育所の新設に伴う建設工事や、地域包括支援センターが役場庁舎から長生荘内へと移転するための準備により、前年度に比べて3,749万円の増となりました。一方で、土木費が5,451万円の減、教育費が2,732万円の減となっています。これは、前年度に町道国神1号線の工事や、皆野スポーツ公園テニスコート人工芝改修工事を実施したためです。

## 基金と町債残高



基金は貯金を、町債は借金を示します。平成27年度は、平成26年度と比べ基金は増、町債は減となりました。